

令和4年度温室効果ガス排出状況

町では、第3次玖珠町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を策定し、温室効果ガス排出量の削減目標の実現に向けて、さまざまな取り組みを行い、温暖化対策の推進を図っています。

令和4年度の町事務事業に伴う温室効果ガス排出量の調査結果を報告します。

1. 温室効果ガス総排出量

町の事務事業に伴う令和4年度の温室効果ガス総排出量は、1,460 t-CO₂ でした。第3次計画の基準年の令和元年度総排出量1,277 t-CO₂に比べ 14.33%増加しています。

		H27	H28	H29	H30	基準年 R1	R2	R3	R4	基準年比
温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算値)	t-CO ₂	1,366	1,464	1,471	—	1,277	1,326	1,446	1,460	14.33%

2. エネルギー種類別温室効果ガス排出量

エネルギー種類別の温室効果ガス排出量は、電気が全体の約56%を占めており、第3次計画の基準年の令和元年度から23.2%増加しております。特に、学校教育施設、社会教育施設からの電気使用による温室効果ガス排出量が増加しています。これは、コロナウイルス感染拡大防止のため、施設の利用制限やイベントの中止などにより施設利用率が下がっていたものが、経済活動の再開により、施設利用が増えたためと考えられます。

現在は、コロナ禍前のガス排出量数値と同等となっています。令和3年度から令和4年度の数値の増加は、三日月の滝公園施設の直営化によるものと考えられます。また、LPガスによる温室効果ガス排出量の増加は、学校空調設備の整備によるものと考えられます。

(単位:t-CO₂)

エネルギー別	基準年 R1	R4	基準年比	R4における エネルギー割合
灯油	145	147	1.38%	10%
軽油	48	38	-20.83%	3%
A重油	175	156	-10.86%	11%
LPG	62	120	93.55%	8%
ガソリン	180	176	-2.22%	12%
電気	668	823	23.20%	56%
計	1,278	1,460		

3. 今後の取り組み

第3次実行計画に基づき、温室効果ガス排出量の削減に向け、施設設備の改善や物品購入時に環境負荷の低減を図り、また、庁舎をはじめとした公共施設における電気、燃料の使用量の削減に努めます。